



1 城東台学区（城東台西町内会）



- 岡山市東区に位置
- 高齢化が進む大規模開発団地作成に着手し始めた地域

2 取組体制

- 地域の関係者
 - ・ 城東台西町内会自主防災会
 - ・ 民生委員
 - 協力機関
 - ・ 担当ケアマネジャー
 - 岡山市関係機関
 - ・ 危機管理室
- ・ ・ 取組主体
 ・ ・ 訪問への同行、調整会議への出席
 ・ ・ 調整会議への出席、計画内容への助言
 ・ ・ 取組全般への支援、助言

3 取組の流れについて

① アンケート実施・対象者選定

→町内会独自で住民向けにアンケートを実施し、支援が必要な方を把握。民生委員等とも相談したうえで、対象者の選定を行う。

② 訪問・聞き取り

→対象者の自宅を訪問し、個別避難計画について説明

③ 地域住民向け説明会の開催

→計画作成の必要性や方法を学ぶため危機管理室職員による説明会を開催。



地域住民の方に取組の必要性や具体的なイメージを持ってもらうことで、地域全体の機運を高めることができた。

④ 調整会議

→対象者の家族や近隣住民、自主防災会、ケアマネジャー、行政機関の関係者が集まり、チェックリストに基づき、本人の状況や避難方法等を整理。その場で計画書に必要事項を記入する。



■ポイント

- ケアマネジャーに参加してもらうことで・・・
- ・ 本人・家族の代弁者として、本人の心身の状況や生活実態等についての的確な説明ができ、より丁寧に理解できる。
 - ・ ショートステイ等の福祉サービスを利用した事前避難などを活用についても検討できる。
 - ・ ケアマネジャーにとっても、普段接点のない地域住民とのつながりを持つ機会となり、平時の支援にも活きる。

⑤ 関係者間で計画を共有

→計画書は市へ提出するとともに、本人と支援者、自主防災会等で共有。

⑥ 避難訓練を実施（予定）